



常磐中学校だより

令和 7年 6月27日
No. 5
四日市市立常磐中学校

《学校教育目標》 生き生きと輝く

吉田山環境整備ありがとうございました

6月1日（土）、吉田山環境整備作業を行いました。

心配された雨も上がり、部活動単位で決められた場所の草抜きや草集め等の作業をしました。どの生徒も部活動の仲間と力を合わせ一生懸命に働いてくれました。PTAの皆様も、暑い中お世話になりありがとうございました。参加者は、生徒、PTAあわせて約360名。集めた草の量は、市のゴミ袋で約600袋でした。これからも、みんなで美しい常磐中学校にしていきたいと思います。



また、6月14日（土）四日市市勤労者・市民交流センターにて、令和7年度四日市市青少年育成市民会議総会が行われ、この会議の中で、吉田山環境整備の活動を生徒会役員が発表しました。



発表の様子です



水泳授業と熱中症予防

期末テスト明けの6月16日から水泳授業が始まっています。プールの清掃は、職場体験先の事業所が定休日での登校となった2年生の生徒でキレイにしてもらいました。

今年もすでに暑い日が続いています。水泳授業は楽しみでもありますが、プールサイドはとても暑くなりますし、水の中での運動はかなり体力を消耗します。水に入るので、ついつい水分補給を怠ってしまう場合もあります。熱中症に気を付けながら、楽しく授業を受けたいものです。

さて、年々暑さが厳しくなる中、昨年4月より「気候変動適応法」が改正されこれまでの「熱中症警戒アラート」が「熱中症警戒情報」として法に位置付けられました。さらに一段上の「熱中症特別警戒情報」が創設されました。



警戒情報発令に伴う四日市市の対応は以下のものとなります。

WBGT 値 31 以上は、「直ちに運動を中止する」とする

常磐中学校においても、WBGT 値が 31 以上になった場合は、体育の授業や部活動などの運動を中止（保健の授業やミーティング等に変更）としますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

< 教育実習生、おつかれさまでした。 >

5月19日（月）から6月6日（金）までの3週間、本校の卒業生である長谷川招さんが、英語の先生になるために教育実習にやって来ていました。長谷川先生は、大学卒業後に一旦は民間企業に就職しましたが、夢であった教師になろうという強い目的意識を持って実習に臨みました。3週間の実習期間中は、分かりやすい授業を考えたり、なるべく多くの時間生徒と関わるようにしたりと、積極的な姿が印象的でした。



～ 長谷川先生のコメント ～

実習では授業を行うことの難しさや生徒一人一人に向き合うことの大切さを学ばせていただきました。授業を進めることに精一杯で、目の前の生徒に向き合う余裕が持てなかったことに悔しさと反省の気持ちでいっぱいです。

しかしながら、この思いをしっかりと胸に刻み、生徒一人一人に真摯に向き合える教師になれるよう精一杯努力していきたいと思っています。常磐中学校での教育実習を経験し、教師になりたいという思いが一層強くなりました。この実習で得た学びを糧に、これからも勉強に励みたいと思います。